

会 議 録

第 1 1 回定例会

開会 平成 2 9 年 9 月 2 5 日

教育委員会会議録

1 開 会 平成29年9月25日 午後1時30分

2 閉 会 平成29年9月25日 午後3時

3 教育委員会出席者

教育長	美馬 持仁
委員	松重 和美
委員	三牧 千鶴子
委員	辻 貴博
委員	藤本 宗子
委員	小林 信行

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	勢井 研
教 育 次 長	森本 俊明
教 育 次 長	栗洲 敬司
教 職 員 課 長	儀宝 修
体育学校安全課長	林 日出夫
教育文化課長	臼杵 一浩
総合教育センター次長	小川 陽子
教育政策課長	小西 哲也
教育政策課政策調査幹	木野内 敦
教育政策課副課長	倉橋 伸寿

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

副教育長 9月定例県議会における質疑応答の概要について報告する。

[議 事]

教育長 議案第30号、報告事項3、報告事項5を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

[議 事]

《議案第29号 平成29年度（平成28年度対象）徳島県教育委員会の点検・評価について》

教育長 説明を求める。

教育政策課政策調査幹 内容等を説明する。

〈質 疑〉

小林委員：点検・評価項目における実績値について、推進という項目を数値化することは難しいのか。

教育政策課政策調査幹：数値目標が設定できるものについては設定しているが、施策の目標に応じて推進等、定性的な評価指標を用いている。

小林委員：これまでこのような質問が出たことはないのか。

教育政策調査幹：評価がわかりにくいという指摘もあるが、直接的にはない。

教育長：数値化してよい場合もあるが、単なる数値に終わってしまう場合もあり、多面的に取り組んでいかなければならないことは推進という形としている。それが本当に推進できているかどうかをしっかりと検証しなければいけない。数値化ができるものは、できるだけ数値化していく必要がある。

辻委員：概ね評価結果は良好なのか。

教育長：努力が必要な項目もある。

辻委員：学力に関する取組はよいが、スポーツに関する取組に努力が必要ということか。

教育長：優れた選手が多かった一昨年は良い結果を残した。毎年、そのような選手が継続して出てきてくれることが望ましい姿ではある。

辻委員：スポーツと学力は数値化がしやすい。

教育長：厳しい結果もしっかり受け止める必要がある。

教育長 議案第29号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第29号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項1 平成29年度とくしま教育の日（教育週間）実施事業について》

教育長 報告を求める。

教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

教育長：昨年は、県教委が主体となる事業をいくつか絞った方がよい、もっと広報をする必要があるという意見をいただいた。とくしま教育の日というのは、県民の皆さんに教育について考えていただくという趣旨である。そのことをもっと周知していかなければならない。それについてはどうか。

教育政策課長：辻委員に御参加いただく「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを実施するなど、県の主体性が増している。

教育長：「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムは、県でも推奨しているコミュニティ・スクールについて、地域の方々にも御参加いただいて考えるという、今回の目玉行事のひとつである。今年は県立図書館の100周年記念講演会もあり、県民の方々にも来ていただける。県主催以外の事業についても、

実施事業一覧にたくさん記載している。この週間もしくは月間に、できるだけ教育について県民の方々に考えていただけるよう、各市町村も期間に合わせて行事を実施しているということで、意義があると思う。

教育政策課長：広報については、今年から懸垂幕を作成して掲示する。

教育長：大きな道に面しており、たくさんの人に見ていただけるということで、城東高校と徳島科学技術高校に掲示する。また、昨年シンボルマークが知られていないという意見もいただいているため、教育委員の名刺にも使用しているが、懸垂幕も活用してアピールしていきたい。

《協議事項1 平成30年度徳島県立学校実習助手採用候補者選考審査要綱について》

教育長 説明を求める。

教職員課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

辻委員：今回募集理由は何か、定年退職によるものか。

教職員課長：実習助手「普通」については、欠員が出ているのでぜひ採用したいと考えている。それ以外の実習助手についても、長年採用ができていなかったり、今後退職者が見込まれたりするなどのことから、ぜひ採用したいと考えている。

辻委員：倍率はどのくらいになるのか。

教職員課長：一昨年の例だが、「農業」の実習助手が採用予定1名のところ、7名の応募があった。

教育長 協議事項1を議案第31号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第31号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第31号を原案どおり決定する旨を告げる。

《協議事項2 平成30年度徳島県立特別支援学校寄宿舎指導員採用候補者選考審査要綱について》

教育長 説明を求める。

教職員課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

教育長：現在、寄宿舎があるのはどの学校か。

教職員課長：徳島視覚支援学校、徳島聴覚支援学校、板野支援学校、国府支援学校の4校にある。

藤本委員：徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校は、2つに分かれているのか。

教職員課長：同じ建物にあるが、障がいの種別が違うので、中で分かれている。

藤本委員：要綱に1名採用とあるが、採用された場合はどこに配置されるのか。

教職員課長：今後、人事異動の中で配置校を決めていく。

教育長：徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校であれば、障がいの種別は視覚と聴覚である。板野支援学校であれば、障がいの種別は肢体不自由や知的となる。採用された場合は、障がいの種別に関係なく、どの支援学校にでも行くことになるが、受審者にはそのことをきちんと認識してもらうように。

教育長 協議事項1を議案第32号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第32号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第32号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項2 とくしま教員育成指標について》

教育長 報告を求める。

教職員課長、総合教育センター次長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

三牧委員：教員が、学校現場でどのように活用するのが望ましいと考えられるか。

教職員課長：教員評価での目標を設定する際や、振り返り、将来を見通す上で照らし合わせて活用するのが望ましいと考える。

三牧委員：確かに、振り返りや目標設定に有効だが、パターン化した目標になることが危惧される。教員のそれぞれの良さ、個性を大切にす観点からの配慮が必要ではないか。

総合教育センター次長：指標では、基礎的・基本的なことを示している。各教員の工夫で肉付けすることを想定している。また、研修を再構築す

るとともに、OJTも推進していく。

教育長：指標には、具体は書いてない。求める姿に到達する方法は、各自工夫してもらおう。また、気づきだけでは向上は望めないので、研修と連動する必要がある。今回は、特に管理職用の指標も作成している。若いうちから優秀な管理職を育てるという取組でもある。

藤本委員：第1、第2、第3ステージは、それぞれ何年目から何年目を想定しているのか。

総合教育センター次長：第1ステージは5年目ぐらいまでを、第2ステージは10年目ぐらいから、第3ステージは基本的には16年目終了ぐらいを想定している。ただ、年数を経たからといって各ステージに到達しているわけでもない。

藤本委員：達しているかどうかは自己判断なのか。

総合教育センター次長：経験年数を踏まえて自己判断するほか、校長と面接する中で自分の状況を判断する。

藤本委員：それに合わせて、自分で申告して研修を受けるのか。

総合教育センター次長：希望研修もあるが、経験年数による基本研修もある。また、管理職にも研修がある。

教育長：横軸を年齢ではなく、ステージという表現にしているのは、個人差を踏まえてのものである。また、自分の都合の良い解釈でも困るので、校長との面談にも活用してもらおう。さらに、研修にも活用できたらという思いでいる。

《報告事項4 第38回近畿高等学校総合文化祭徳島大会プレ大会の開催について》

教育長 報告を求める。

教育文化課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

松重委員：平成30年度の本番は、どれくらいの規模で行われるのか。

教育文化課長：2府8県で、6,000人から7,000人程度の規模である。

松重委員：高校生の文化というのであれば、新しいものを積極的に取り入れてみてはどうか。

教育文化課長：今度、生徒の実行委員会が立ち上がるが、その中で高校生の意見も反映させていきたい。例えば、コスプレ等の意見があれば、取り入れることを検討する。

三牧委員：札幌駅にデザイナーが布を縫い合わせたディスプレイを天井に展示していた。徳島でも、例えば、アスティ徳島の会場に、県内の全ての高校生が染めた藍染をたくさん飾るようにすれば、テーマとも合って良いのではないか。

教育文化課長：テーマの藍にちなんだ企画を現在検討途中である、決まれば報告する。

教育長：できるだけ多くの高校生が参加できるようにする。あと、PRの仕方も工夫してもらいたい。

教育文化課長：マスコットキャラクター、イメージソング等が決定したら、そこから積極的に広報したい。

松重委員：ゆるキャラは作るのか。

教育文化課長：マスコットキャラクターで作成するようにしている。

[非公開]

《報告事項5 平成30年度徳島県社会教育主事（文化財教育）選考採用審査の結果について》

《議案第30号 公文書公開請求拒否決定に対する審査請求事案の徳島県情報公開審査会への諮問について》

《報告事項3 平成30年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査第2次審査の結果について》

[閉会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午後3時